

五分館だより

第97号
第五分館
編集／社会部
印刷／椋プランニング
堀越の今日
戸数 81戸(76戸)
人口 292人
(男140 女154)
平成29年10月現在

73名が参加

分館研修旅行

個人負担があっても
研修旅行が出来れば

堂平 松村 雄一

七月二十三日朝七時、愛知県方面への研修旅行とい

うことで、区民会館には、多くの区民が集まりました。おやつ、飲み物と、い、うれしい気持ちでバスに乗り込みました。



中部国際空港(セントレア)

趣味の話に花を咲かせ、楽しく交流しながら行ってきた。バスの中という事で席の近い人たちが、他の人たちとの交流ももう少しできたかなと思

見学場所は、まず「名古屋市防災センター」で、バスから降りるとクマゼミの歓迎を受けました。なんと田舎より都会のほうが蟬の勢いがすごいことにびっくりでした。

そんな港区役所の横にある防災センターには、地震の体験室で体験している人たちもいて揺れに対しての心構えもできたのではと思います。煙体験はあいにく作動できなかったのですが、津波の映像や伊勢湾台風を知るコーナーあり、防災ヘリ、消防車の展示など狭い場所でしたが内容は詰まっています。次に「中部国際空港」の見学でした。飛行機の発着を眺め、空港内のレストランでバイキング料理を堪能しました。

交流が出来て
有意義な一日
上垣外 武田 久美子
七月二十三日、研修旅行がありました。名古屋防災センター、セントレア空港、めんたいパーク、半田赤レンガ建物を巡りました。名古屋防災センターでは火事の煙や震度七の地震体験をし、災害の恐ろしさを身をもって知ること、日頃から備えの大切さを再確認することができました。また、半田赤レンガ建物は国の有形文化財にも指定されており、風貌からもその歴史の深さが感じられました。セントレア空港やめんたいパークでは、各々に昼食や買い物を楽しみました。

研修旅行に参加して
中宮 日詰 もな
研修旅行に参加しました。愛知県の方へバスに乗って行きました。



名古屋市防災センターにて

平成29年 日帰り研修旅行決算書			
収入計金	538,000円		
支出計金	510,579円		
差引残高	27,421円		
収入の部 (円)			
項目	金額	備考	
予算	420,000		
徴収金(大人分)	118,000	@2,000円x59名	
合計	538,000		
支出の部 (円)			
項目	金額	備考	
旅行代金	450,960	73名分(日の出観光)	
飲み物/つまみ代	29,433	お菓子他	
写真代	11,620		
ドライバー他お礼	11,000	3名	
事務経費	7,566	林、小椋 車代含む	
合計	510,579		

大きな国際空港で昼食を食べたり、めんたいパークという明太子の工場や愛知県の赤レンガ倉庫を見学しました。

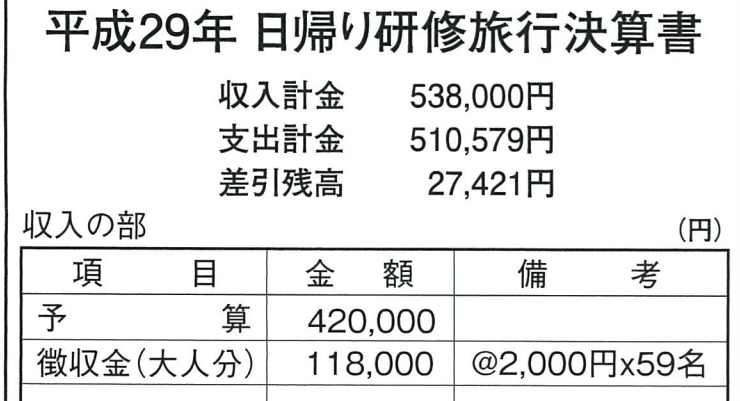
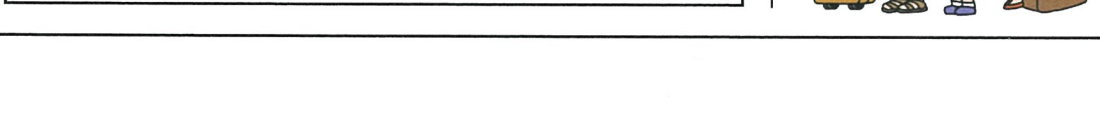
朝早くに出発しましたが、あつという間に夕方になっていました。本当にとっても楽しい一日でした。

また、このような研修旅行があれば、参加したいと思います。

研修旅行に参加して
西部 林 龍之介
七月二十三日、セントレアと、防災センター、赤レンガ、明太パークに行きました。一番思い出があったのは、セントレアでみんなと一緒に、スパイダーマンと写真をとった事です。

また、昼食はバイキングで、たくさん種類のものを食べる事ができたのでとてもよかったです。

また行きたいと思っていますが、つまらない所が多かったのも、しっかりと考えてきめてほしいと思いました。



バイキング料理で昼食

祭涼納 天気にも恵まれた納涼祭

参加人数はやや少なめ

8月5日、分館恒例の納涼祭が行われました。毎年夕立の心配をしながらの準備ですが、今年は天気に恵まれ実施されました。参加人数は前年より少なめでしたが、真夏の夜の一時を過ごしました。

若い人の

協力に感謝

開催時期内容の検討も

8月5日毎年の恒例行事となっている、第五分館の納涼祭が実施されました。毎年夕立の心配をしながらの準備ですが、今年は雨の心配もなく進めることができました。内容は前年と同じような内容ですが、準備には堀越に在住している若い世代にも分館の内容を知ってもらう為、声をかけ賞



暑い中での焼き物準備



思い思いの人と談笑

品の準備等に協力していただきました。また、仕事などで参加できない方は、分館に連絡をくれるなど責任ある対応をして頂いた方もあり、初めてでしたが声を掛ければ協力をして頂けるのではないかと、分館としても心強く感じました。さて、いよいよ開催です。今年は参加人数が例年より少なく、約100名程で昨年より20パーセントばかり減少していました。第一土曜日、飯田りんごなど色々と影響しているかとは思いますが、内容のマ

ンネリ化等もあるかも知れませんが、時期の問題、内容の再検討が課題となりました。また、役員だけでなく若い方にも参加して頂き、実行委員体制で企画検討し多くの人が参加出来る内容

で開催する事も必要かと思えます。色々な事業に対して見直すことがあります。一人でも多くの方が参加出来る、楽しい事業内容として行きたいと思えます。

第3回敬老 区民会館に響いた歌声

参加者全員で歌と運動

9月17日(日)に堀越区の敬老会が開催されました。主催は今年で3回目です。この日は台風が九州に上陸しその影響が心配されましたが、朝から雨は降らず敬老会の間は何とか持ちこたえてくれました。区内の75歳以上の皆さんが大勢参加し盛大に行われました。

ループの皆さんを中心に一緒に歌いました。続いて北市場の木下静香さんの司会で全員で歌を歌いました。木下さんはサロなど司会をしていて、こういうことには慣れていたので、このようにユーモアを交えて、また歌だけでなく軽い運動をしながら進行していました。最後は堀越の小学生グループ「桜松林」による踊りです。いつも子供たちの踊りには元気をもらいます。



皆さんで堀越音頭を歌いました



お知らせ

第五分館のHPを制作致しましたのでご報告を致します。

アドレス

<http://www.tk-dai5bunkan.org/>
実施事業内容の動画等々を報告致します。

参加者を代表して西元壽さんの音頭で万歳三唱をしてこの回を終了しました。今年は参加した皆さんと一緒に歌うという趣向でしたが楽しんでいただけたでしょうか。来年も皆さんに喜んでいただけたら企画を考えたいと思います。ボランティアの皆さんにもお手伝いいただきありがとうございました。

久保田 和博



木下さんのユーモアのあるトークと歌

黒谷箋

最近、子供が卓球を教える欲しいと良く言ってくるようになり、一緒に卓球をして過ごす時間が多くなってきました。私と卓球の思い出を振り返ってみます。今の長男と同じ3年生の頃、祖母が買ってくれた卓球台で、家族で遊んだことがきっかけで卓球が好きになりました。小学校4年生の頃、村民体育館で毎週金曜日にやっていた卓球クラブに母と一緒に入ってから、徐々に卓球にのめり込んで行きました。中学の頃の部活では、試合前に先生が気合い注入の意味を込め背中をたたいてくれ、「頑張って来いよ」と言っていたのも試合に送り出してくれたことを思い出します。高校では、インターハイを目指し必死で練習し、結果最後の高校総体では、決勝でインターハイをかけて松商と戦い敗れ散々悔しい経験が思い出されます。大学の時は、関東の6部まである学生リーグで戦っており、最初うちの大学は5部だったのですが、皆で頑張った4部に昇格し喜びあった事を思い出します。社会人になってからも今までもずっと続けて来ました。これでこれ30年以上続けてこれました。これからも、健康維持も兼ねて、子供達と一緒に卓球を楽しんで行きたいと思っています。

体育部 松下 浩之